

KYOTO AYABE MITSUNO AtoZ

水源の里 興野

AtoZ



MESSAGE

光野の皆様のご意見を尊重した作品になっています！その中に私たち学生の視点から見た光野の魅力なども盛り込み、読んでいて飽きない作品に仕上がりました。

大桂の木や光野米や無患子など魅力ある特産品が数多く存在する光野の方々は皆さま温かく優しい人達ばかりでした。私たちのために何度も貴重な時間を割いて協力してくださり、本当にたくさんの魅力あるお話をしてくださいました。とても勉強になりました。

AtoZを通じて沢山の人に光野の魅力が伝わり、ご興味を持って頂ければ幸いです。多くの方の手にこちらの冊子が渡ることを光野の方をはじめ私たち龍谷大学的場ゼミナールのメンバーも願っております。

ABOUT

上林川の上流に位置する光野は平成25年5月から「水源の里」の取り組みを開始し、マスコットキャラクターの「ヒカルくん」を作るなど、独自の方法で地域の活性化と振興を図っています。光野のお稲荷さんや於見の太鼓など、歴史的なものも多く、先祖代々守られてきた風土を感じることが出来ます。

水源の里 光野
人口 27人 15世帯
2018年3月現在



春 公民館のそばにあるしだれ桜が咲きみだれ、
光野の村を爽やかな春に彩ります。

秋 光野を囲む山々が赤々と輝き、見事な紅葉を
堪能できます。

夏 十二所神社で夏祭りが行われ、村の方々と楽
しい時間を過ごせます。

冬 雪が積もり辺りは綺麗な銀世界へと変貌しま
す。

CONTENTS

A Araragi
志馬さん宅のアララギ

B Shizen no bi
自然の美

C Cosmos
コスモス

D Doubutsu
動物

E Eat
Eat

F Firefly
蛍

G Ginsekai
銀世界

H Hikaru-kun
ヒカルくん

I Inari
稲荷

J Jyunisyo-Jinja
十二所神社

K Katsuranoki
桂の木

L Link
Link

M Mukuroji
無患子

N Nougyo
農業

O O-daiko
於見の太鼓

P Dokapoka
ぽかぽか米ぬか酵素浴

Q Quantama
アースセラビーかんたま

R River
川

S Star
星

T Tyokokuka
彫刻家

U Ukeire
受け入れ

V Vacation
バケーション

W Wakimizu
湧き水

X Himitsu no X
秘密の X

Y Yamamichi
山道

Z Shidare-Zakura
しだれざくら





A

Araragi



B

Shizen no bi



C

Cosmos

光野にある大きなアララギは、樹齢500年以上。江戸時代の大庄屋であった志馬氏の庭園に植えられてあったそうです。綾部の古木名木100選にも選出されています。樹高7m、幹周1.6mと非常に大きく立派な木です。今でも丁寧に手入れされていて歴史を感じる木です。

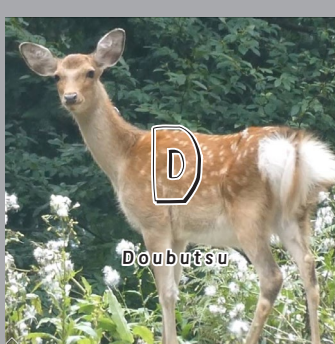
志馬^{しめ}さん宅のアララギ

光野は自然豊かなところです。川の上流が特にきれいで、太陽の光が反射し魅力的な景色です。三国岳を望み、冬になると薄雪に朝日が映り、幻想的な雰囲気醸し出します。また夏の夜には蛍も見所です。ぜひたくさんの自然を体感しに来てください。

自然の美

水源の里を立ち上げる際に、アビールポイントのひとつにするために植えられました。9月下旬から10月中旬が見ごろです。シカに食べられないように柵で囲い、手間暇をかけて大切に育てています。毎年工夫を重ね今年で3年目です。ぜひ綺麗なコスモスを観に来てください。

コスモス



Doubutsu



Eat



Firefly

光野にはたくさんの動物が生息しています。サルやイノシシ、シカなど、都会では見かけない生き物です。シカは農業被害が問題になっていますが、マイナス面だけではなく、角は装飾品として高く売れ、肉は食用として活用されるケースも。猟師を募集しているので、興味のある方はぜひ！

動物

光野の方々は多くの家庭で野菜や梅干しを作っています。「五平餅を上回る味」と評判の「六平餅」といわれるお餅が有名で、おばあちゃんが地域のお祭りで振る舞ってくれます。また、「光の米」というブランド米を作っていて、売り上げの一部は、地域の活性化を助けています。

Eat

おじいちゃん、おばあちゃんが子供の頃は、竹の先に菜種がらを結わえて、蛍を捕まえていました。そして、蛍をネギの筒の中に入れて光を楽しんでいました。沢山の蛍が光を放って川の形を映し出す風景はとても綺麗で、空が曇っているとより蛍の光が際立ちます。

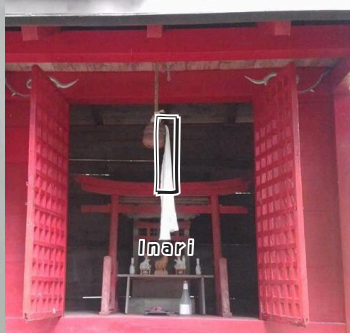
蛍

G

Ginsekai



Hikaru-kun



Inari

自然の美と雪が合わさるととても綺麗で、なかでも、枯れ木にうすく雪が積もったところに日が差した景色はとびつきりです。かまくら作りに雪だるま作り、雪遊びし放題、作り放題です！都会ではなかなか味わえません！集落到除雪機もあるので交通の心配はありません。

銀世界

「水源の里」の指定を受けた時、代表の澁谷満男さんが作りだした光野のマスコットキャラクターです。光野のおいなりさん、太鼓などが組み込まれています。エプロンにプリントしてイベントに出るなど、内にも外にも知名度をぐんぐんあげていきます！

ヒカルくん

熊野十二所神社の境内に祀られており、元々は山の上で祀られていたものを今の場所に移しました。狐が美しいお手伝いさんに取り憑いて、毎年7月8日においなりさんをお祀りすることと引き換えに、シキミに乗り移ってもらうという民話「光野のお稲荷さん」として知られています。

稲荷



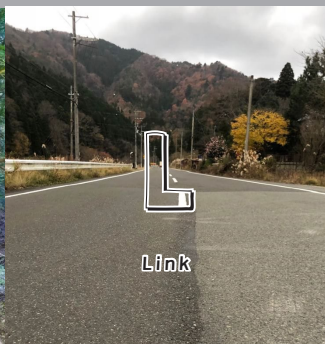
J

Jyunisyo-Jinja



K

Katsuranoki



L

Link

公民館近くにある十二所神社は1554年に焼失したあと再建され、1810年に再再建されました。本殿の左右にはそれぞれ上り竜、下り竜の見事な彫刻が見られます。境内には無患子(むくろじ)の木、お稲荷さんがあります。ドラマやおとぎ話に出てきそうな趣き深い神社です。

十二所神社 じゅうにしょじんじや

光野には4年ほど前から注目され始めた大きな桂の木があります。樹高33m、幹回り17.48mもあり、京都府内で3本の指に入るとされ、綾部市ではいちばんの大きさです。桂の木は山の神様として崇められており、昔は桂の木に続く参拝者のための道があったとされています。

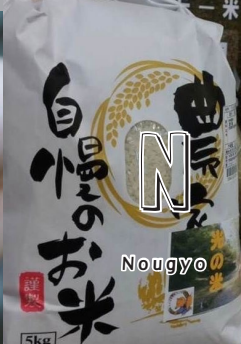
桂の木

光野から福井県境までは車で約5分で行くことができる上に、スーパーがたくさんあるおいしい町までもそれ程遠くないので、買い物では困りません。また光野では、月に一回コミュニティナースの方がいらっしゃって健康体操をしています。このように光野は様々な交流がたくさんあります。

LINK



Mukuroji



Nougyo



O-daiiko

無患子とは名前の通り子供が病気を患わないという意味があります。光野には大きな無患子の木があり、その実はプレスレットや数珠などに使われています。硬い木の実に穴をあけて作ったプレスレットはとてもかわいいです。光野を訪れた際はぜひ手にとってみて下さい。

無患子
むくろじ

ここではほとんどの人が農業をしながら生活をしており、お米から薬草まで幅広く作っています。ここで作られたお米は「光の米」として販売されていて、その名の通りピカピカ輝いています。薬草はとても育てるのが難しく、収穫できるのはなんと2年に1度程度なんだとか！

農業

於見の太鼓というのは光野にあるとても大きな太鼓のことです。昭和54年の12月に志馬辰夫さんが張り替えられました。およそ200年前に一本の大ケヤキから作られた大太鼓は3つあるとされています。力任せにたたいても跳ね返されるほどの大太鼓、一度はたたいてみたくないですか？

於見の太鼓
おのみ



P

DokaDoka



Q

Quantama



R

River

Qの「アースセラピーかんたま」で体験できる米ぬか酵素浴。米ぬか酵素の発酵熱で温まった浴槽につかり体内の老廃物をデトックスできます。効能はダイエット効果、老化防止など様々なものがあります。ぜひ光野で体験してみてください。

※要予約

090-6113-4309

ぽかぽか米ぬか酵素浴

「アースセラピーかんたま」は、Pの「米ぬか酵素浴」などを施術している、ホリスティックサロンです。もともと古い日本家屋だったところを1ターン者のオーナー、栗山さん自らが改装し開業されました。昔からここにある自然のエネルギーを利用しボディケア、スキンケアを体験できる施設です。

アースセラピーかんたま

光野の集落は川沿いに民家があり、子供の頃から川遊びや釣りをするなど、川と密接な生活をしていました。水源の里には「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」というコンセプトがあります。都会で行き詰まったら、一度上流（光野）から下流（都会）を見つめ直してみたいかがでしょう。

川



Star



Tyokokuka



Ukeire

星

水源の里では多くの場所とてもきれいな星空を眺めることができ、光野でも沢山の星を見ることができます。都会では見ることのできなくなった星空は、都会での疲れや悩みを忘れさせてくれます。夜空を彩る無数の星の中から自分の星座を見つけてみるのも楽しいかもしれませんね。

彫刻家

光野には、彫刻家の渋谷銃一さんのアトリエがあります。趣味で始めたという渋谷さんですが、京仏師も腕を認めるほどの作品を作り、寺の和尚さんの依頼を受けるほどの腕前です。光野には静かでのどかな空間があり、静かに作業をしたい人にはうってつけの場所。彫刻を学びたい方もぜひ光野へ。

受け入れ

とにかく若者の力が必要です！人がいなくなるのは寂しいんです！山奥だけど、行き止まりではなく、他の地域にもアクセス良好です！福井県につながる道路が通っており、山、川だけでなく、海にも近い！都会では見られない動植物がいっぱいです！移住者大歓迎！一度訪れてみませんか？



V

Vacation



W

Wakimizu



X

Himitsu no X

特に夏に来るのがオススメ！綺麗な川が流れているので川遊びが楽しめます。昔は子どもたちの遊び場でプール代わりでした。また、天気の良い日の夜はたくさんの星を見ることができます。都会では味わえない雰囲気とゆったりした時間の流れ、自然に癒される休暇になること間違いなし☆

バケーション

光野では水道代が無料です。山の湧き水を引っ張ってきて、ろ過し、タンクに貯め、各家庭に送ります。水源は集落内にあり、歩いて水源を見に行くこともできます。水と近い生活なので、水のありがたみを感じながら生活することができます。

湧き水

光野は昔、金が採れたという伝説があります。光野という地名の由来は誰も知りません。もしかしたら、光野の「光」という字は金から由来しているのでは？ また、光野には秘密の植物が咲いています。秘密が気になった方！そんなたくさんの可能性を秘めた光野へ探検にきてみませんか？

秘密のX

Y

Yamamichi

Z

Shidare-Zakura

光野と市志をつなぐトレッキングコースが2016年に開通しました。ミツマタや「スイセンとヒガンバナの丘」などを観光しながら歩くことができます。この峠は、市志と光野で協力して整備し、2017年には交流イベントが開催されました。光野に来た時はぜひ歩いてみてください！

山道

公民館横にあるしだれざくらは、毎年春になるときれいなピンクに染まります。自治会の方々が何本か植えたのですが、今は公民館横のしだれざくらだけが残っています。光野の道を通る時はきっと、そのざくらが目に入ることでしょう。光野の入り口にあるので、まるで光野に来る人をお出迎えているようです。

しだれざくら

\ PICK UP! /



水源の里 光野

光野の魅力を伝えるため、PR活動としてFacebookのアカウントがあります。地元の方々が管理しており、こまめに更新されています。現地で見られない景色や伝統行事を知ることができます。ぜひフォローお願いします。



コスモス畑の府道の向かいの山際に移植されたジャーマンアイリス（ドイツアヤメ）。景観植物で花言葉は「希望・メッセージ」。光野に良い便りを運んできてくれそうです。この他にもタニウツギなど沢山の花を見ることができます。



光野は山に囲まれていて、秋になると鮮やかな紅葉で人々を魅了します。葉が落ちるころには十二所神社のイチヨウの木の花が落ち、見事な黄色の絨毯が現れます。まさにそれは最近流行りのインスタ映えスポットです。

MEMBER



滝谷 満男
(水源の里・光野)

よく光野には、何も魅力がないと言われがちですが、都会にあるものがないだけで、4キロの府道沿いには四季を感じる豊かな自然があります。新たな魅力を探しにきてください。住まなくても訪れるだけでいいんです。



土谷 彩恵
(龍谷大学の場ゼミ)

はじめは何もないというイメージだったが地元の方々とお話ししたり散策するにつれて、光野の良さがわかってきました。綺麗な川や沢山の緑があり、自分の工夫と考え次第で田舎はとてもいい場所になると気づきました。



中谷 亜也衣
(龍谷大学の場ゼミ)

山に囲まれた光野ですが、川も流れていて、自然がいっぱいで、漁師町で育った私には、山と川のある環境はとても新鮮で刺激的でした。地域の方とたくさんお話しして作成しました。光野の魅力が詰まった AtoZ になったと思います。



福井 善男
(水源の里・光野)

4 kmにまたがる「光野」は、古き伝統と豊かな自然に恵まれた地域です。水源の里の指名を受けてから、新たな視点で地域おこしを開始し、今、自然を活かした活動によってステップアップを図っているところです。



吉川 淳史
(水源の里・光野)

「ポーっと、生きてんじゃねーよ！」って叱られそうです。龍谷大学の皆さんのお陰で、身近にありすぎて気付かなかった数々の「お宝」に光がさしました。次はどう育てていくかです。第二の故郷へまた遊びにきてね。



中野 凌輔
(龍谷大学の場ゼミ)

今までずっと京都市内で過ごしてきた自分にとってはなかなか触れ合うことのない環境でした。都会を捨て去り、自給自足の生活をするためにはもってこいの場所です。光野の方たちも温かい方たちばかりでとてもいい場所です。

What's 水源の里 AtoZ

平成 19 年、全国に先駆けスタートした「水源の里」は、平成 29 年に 3 回目の条例改正を経て、更に活動を拡大しています。「水源の里 AtoZ」は、学生の目線から見た「水源の里」を、1冊の小冊子にまとめたものです。



馬場 恒治
(光野自治会長)

光野町は田ノ谷・於見・光野（光野・原口）・両在（船迫・沢田）の4組に分かれています。現在、桂の木・大太鼓を活用して活性化に取り組んでおられます。地元にいれば当たり前のことが他から見れば新鮮に見えることがあります。一度光野町を散策してみてもいかがでしょうか。新しい発見があるかも・・・？



伴野 亮太
(熊谷大学の場合ゼミ)

光野に初めて行ったときは、今まで私が育ってきた環境と違っていて驚きました。が、AtoZを作っている中で、この静かで穏やかな環境で暮らしたい人がいると思います。そんな方にこの冊子が役立てばと地元の方と議論を重ね作成しました。



中川 晃輔
(熊谷大学の場合ゼミ)

自然の良さが改めて身に染みる体験になりました！田舎ならではの魅力や雰囲気を引き出せたと思います！納得のいく作品が完成しました！光野の魅力が伝わるように全力を尽くして作成したので、ぜひ読んでください。



渋谷 了子
(水源の里・光野)

水源の里と美しい名称のもと、この光野も高齢化と住民減少が深刻で地元で頑張って下さる人故郷に帰り活動指導して下さる人の中で、私達女性部も何かとお手伝いしたい気持ちでいっぱいです。出来る範囲で頑張りたいと思っています。



的場 信敬
(熊谷大学教員)

今回のAtoZで、地域の文化、伝統、自然などたくさんの「売り」をご紹介しましたが、何よりの「売り」は、集落の皆さんです。懐かしい温かさを感じさせてくれます。仕事を辞めることが出来たなら本気で移住したいかも！

学生は繰り返し集落を訪れ交流を重ね、地元の方々はこのまでの集落の歴史・魅力を見つめ直し、両者が力を合わせ、この「集落の名刺」を紡ぎ出しました。これからも「水源の里AtoZ」をはじめとした農村都市交流、水源の里集落と外部組織との連携事業を推進していきます。

水源の里・光野 AtoZ

発行日 2019年3月1日

制作 龍谷大学政策学部的場ゼミ

土谷 彩恵
空谷 亜也衣
中野 凌輔
伴野 亮太
中川 晃輔

協力 水源の里 光野の皆様
的場 信敬（龍谷大学政策学部教授）
堀見 直紀
（半農半X 研究所、福知山公立大学准教授、総務省地域力創造アドバイザー）
滋野 正道（龍谷大学文学部プロジェクトアシスタント）

発行 あやべ水源の里連絡協議会
（綾部市役所定住・地域政策課 上林いきいきセンター）
京都府綾部市八津合町上荒木 5
TEL 0773-54-0095 MAIL teijyutiiki@city.ayabe.lg.jp
HP <https://www.city.ayabe.lg.jp/>



水源の里・光野 Facebook ページ

地元の方が管理しており、こまめに更新されています。
現地で見られない景色や伝統行事を知ることができます。



あやべ水源の里 Facebook ページ

水源の里の「今」をお届け。
イベント情報や水源の里の四季をどこよりも早くお伝えします。

